

1 2 特殊地下壕等対策事業（警固屋9丁目地区）の推進

土木建築局都市計画課

提案の要旨

特殊地下壕等対策事業（警固屋9丁目地区）の推進

現状及び課題

この特殊地下壕（通称、長迫防空壕）は、阿賀地区から音戸地区へ向かう主要地方道呉環状線沿いに位置し、坑口が海側に点在しています。戦時中、旧海軍によって築造され縫製・魚雷製造等に使用されていました。現在に至るまで土質が比較的安定していること及び土被りが大きいことから危険性はないと判断し、孔口閉鎖で対応していました。

このたび、自治会長からの要望により現地調査を行った結果、入口から30m付近で落盤跡が確認されたため、家屋への影響が懸念されることが判明しました。

このため、平成29年度に測量調査設計の実施と工事に着工し、平成31年度末までに工事を完了させる予定です。

特殊地下壕の崩落による家屋への影響を防ぐためには、早急に坑内充填等の対応をしなければならない状況であり、平成30年度以降も本事業を促進して、市民の安全を保護することが急務の課題となっています。

取組状況等

所在地： 広島県呉市警固屋9丁目4番地内

延長・幅等 : L = 169m(全体延長L=約1,000m) W=2.5~4m, H=2.5~3m
事業着手年度 : 平成29年度（新規要望）
全体事業費 : 150百万円（予定）
平成29年度事業費 : 36百万円（予定）
平成30年度以降残事業費 : 114百万円（予定）

事業スケジュール

平成29年度から事業に着手し、平成31年度末までに工事を完了させる予定。

（平成29年度は、測量調査設計、L=26mの埋め戻し工事を着手
平成30年度は、L=71mの埋め戻し工事を実施
平成31年度は、L=72mの埋め戻し工事を実施）

提案の内容

○特殊地下壕等対策事業の推進

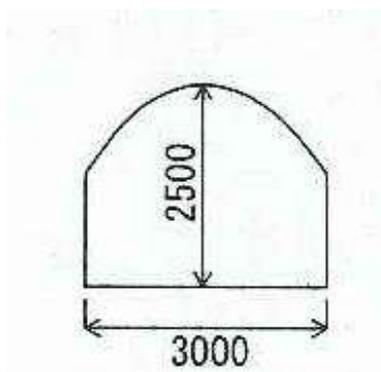
安全・安心なまちづくりを推進するため、必要な財源確保に向けて国に働き掛けを行うこと。

位置図，平面図，標準断面図

位置図



標準断面図



平面図

事業区間 L = 169m
(全体延長 L = 約 1,000m)

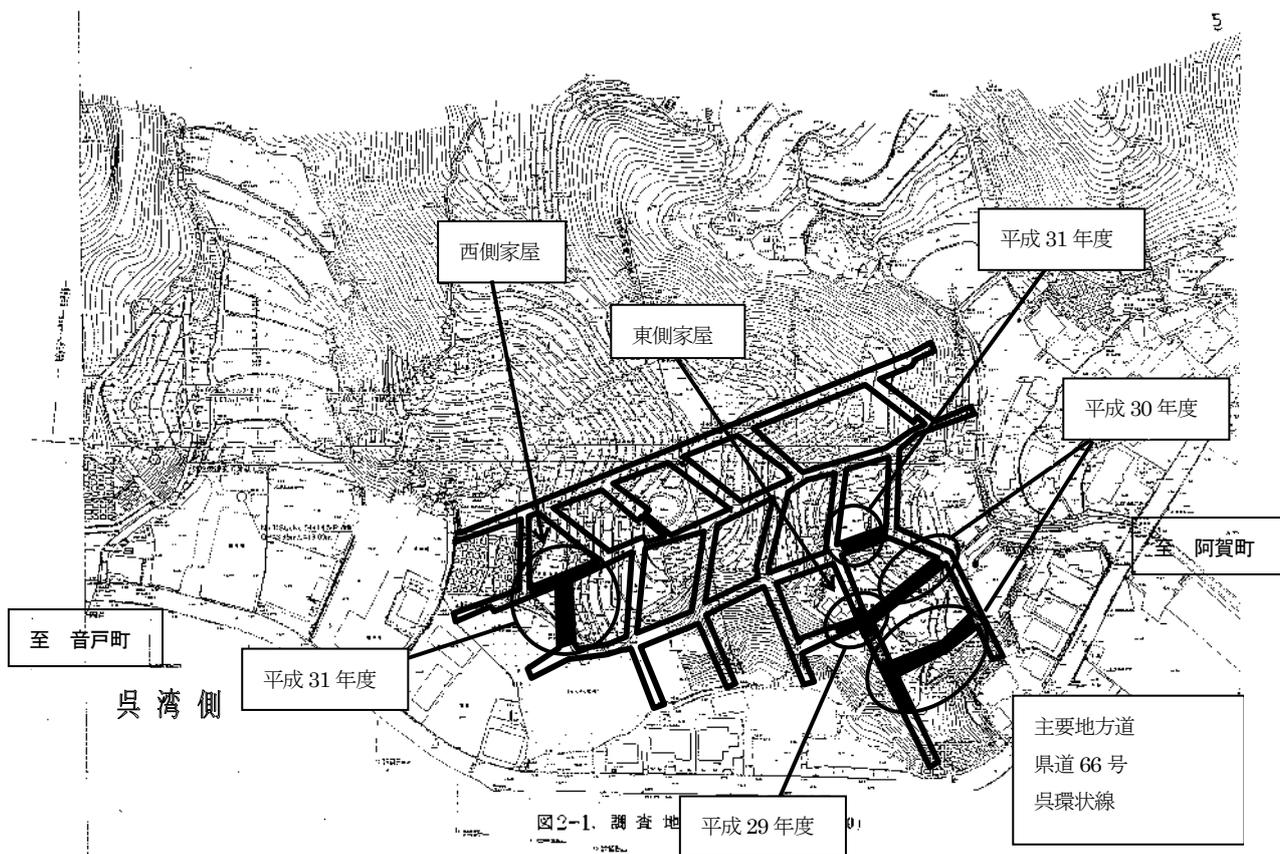
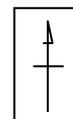


図2-1. 調査地